

2026年1月22日 水俣学

# 水俣病発生公式確認70年

## 水俣病事件の歴史と現在

熊本学園大学  
水俣学研究センター  
花田昌宣

# 水俣病70年とは

- 何が70年なのか
  - 発生公式確認1956年から70年
  - 70年の被害者の苦難の歴史
- 今日お伝えしたいこと
  - 自分の経験と重ねて
  - 発生・拡大・補償と救済の過ちの歴史
  - 差別の歴史としての水俣病

# 自己紹介

- 熊本学園大学 水俣学研究センター
- 社会福祉学部福祉環境学科
- 大学院社会福祉学研究科
  - （社福）くまもと障害者労働センター理事長
  - 熊本県部落解放研究会会長、九州地区部落解放史研究連絡協議会会長
  - エコネットみなまた理事長
- 水俣病との出会いは1974年
- 原田正純先生と「水俣学」を構想し、構築中。

# 私と水俣病の関わり

- 水俣病患者の闘争に触れたこと
  - 1973年判決以後、政治の季節の終わりに
  - 水俣病の映画、闘争の記録
- 「県外の患者」との付き合い
  - 足下の水俣病を!!
  - 東海地方、関西地方の患者たちとの出会い
- 見捨てられていた患者たち
  - 患者の「発掘」

# 本日お伝えしたいこと

人類の経験した公害，水俣病の負の遺産（失敗の経験）に学び，将来に活かす

- ▶ 水俣病の70年の歴史を学び，今なお残されている課題を理解すること
- ▶ 水俣病という公害が，学校の中で習った過去の問題ではなく，いまなお終わっていないこと
- ▶ ひとりひとりの暮らしのあり方を考え直すきっかけを得ること

## なぜ、今、MINAMATA

正式発見から70年を迎えようとしている  
2004年最高裁判決によって行政責任が認められ、  
2013年国の認定基準の過ちも認められ、  
2023年近畿訴訟で原告全員128名水俣病と認め  
行政の水俣病病像、認定制度や救済策が破綻した。  
水俣病患者の苦悩と苦闘は続いている  
風化させないために、  
今、検証して未来へつなぎたい

# 水俣病をどう理解しどう伝えていくか

- 熊本学園大学における20年の経験から
- 熊本の子どもたち
- →小学5年時の水俣訪問：覚えていますか
  - 水俣病被害をどう受け止めているか
- →ハンセン病
- →人権同和教育
  - 何を覚えているか、何を分かっているか
  - 主体的受け止め？正しい知識？
  - 差別発言事件？
- 教師たちの理解は？

# 人権教育の現場では

- [暗い・辛い話ばかりではなく明るい将来の話が欲しい]
- 水俣病授業のパターン
- 1. 水俣病はなぜ起きたか
  - チツソの行ったこと
  - 漁業と水俣病や漁民の暮らし
- 2. 被害者の苦労に耳を傾けよう
  - 患者の声を聞く、患者の文章を読む
- 3. 水俣病の経験を生かそう
  - 環境を大事にしよう、環境モデル都市、もやい直し



# 日本の公害そして水俣病とは何か

- 四大公害事件といわれるもの（４大公害訴訟）
  - － 水俣病
  - － イタイイタイ病
  - － 新潟水俣病
  - － 四日市ぜんそく
- ほかに、土呂久砒素公害鉍毒事件（宮崎県）、足尾鉍毒事件（栃木県、群馬県、渡良瀬川.....）、カネミ油症（PCBによる食品公害、）、益城町城山鉍山、相良村深田鉍山、.....

## 【水俣病とは】

それまで人類が経験したことのない公害事件

〔環境汚染による公害病〕 一企業(チッソ)が、産業活動によって生み出された有機水銀を含む有害物質を、不知火海に未処理のまま大量に排出し、環境を汚染し、食物連鎖を経て、人体に取り込まれて起きた公害病

〔身体的被害〕 環境汚染が、重篤で大規模な人体被害をもたらしたものの。中枢性の神経疾患が主要症状である。

## 【水俣病とは 2】

[胎児性水俣病] 人類初の経験！と言われている

胎盤を通して汚染、水俣病という障害を持って生まれ  
てくるもたらされるという未曾有の経験もしました。

[汚染の広がり] 汚染そして被害は、水俣湾から対岸の  
島々まで不知火海全体に広がっている。

[被害者数は？] 国の基準で認定された人、国の基準  
を満たさないが健康被害を受け、医療給付を受けている  
人、認められないまま亡くなった人、まだ隠れている人

..... **全体像は不明!!!**

# 2018年 公式確認から62年 水俣病慰霊式とチッソ社長の暴言

## 水俣病「救済終わった」

### チッソ社長、慰霊式後に

水俣病の公式確認から62年を迎えた1日、水俣病犠牲者慰霊式が熊本県水俣市の「水俣病慰霊の森」前で営まれた。参列した原因企業チッソの後藤隆吉社長（図）が式後の取材に対し、水俣病被害者救済法、特措法に盛り込まれた事業子会社JNC廃棄物事件の一つである「救済の終了」について「異論はあるかもしれないが、私としては救済は終わっている」と述べた。▼25面＝慰霊式の様子。現在も患者認定を求める

人がおり、訴訟も続いていることから患者・被害者団体からは「加害企業としてあるまじきことだ」と批判の声があがっている。後藤社長は、JNC株の売却について「せむじりた」と思っています」と意欲を示した。チッソはこの株を売却した後、会社の清算が可能になるため、補償の主体が消えるとの懸念が患者・被害者団体にある。水俣病の「最終解決」を掲げる特措法では「市税の好転」と「救済の終了」を

条件に、環境相の承認を得てJNC株を売却できる手続きが盛り込まれている。今回の発言を受け、中川雅治環境相は「現時点で救済の終了とは言いがたい」との見解を示した。後藤社長は昨夏、最高顧問から社長に異例の復讐を遂げ、7年ぶりに慰霊式に出席。取材に「救済とは

特措法による救済という意味。あなからいって可能な限り、広く救済したわけですよ」と答えた。特措法に基づく救済は2014年に対象者の利権が終わっている。後藤社長は現在も続く訴訟の原告らを念頭に「いろいろ紛争がありま

### 62年決して忘れない

祭壇に献花する水俣病患者ら11日午後、熊本県水俣市、長谷神庭（撮影）



# 「救済終了」発言の何が問題か

- 1) 水俣病は終わった
  - 2) 救済対象となる被害者はもういない
  - 3) チッソは補償責任を果たした
- 
- 熊本の市民として
  - 水俣病がどうなっているのかの理解が必要

# 本年5月1日の発言に対するお詫びと撤回

## チッソ株式会社社長後藤舜吉

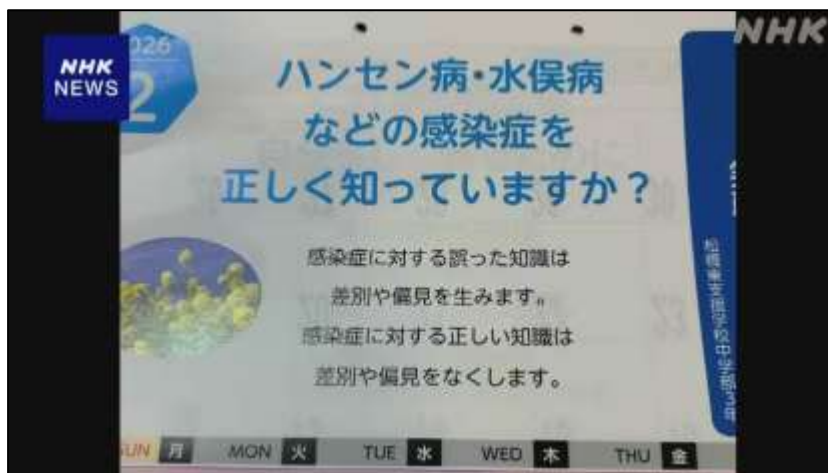
- 本年5月1日に開催された水俣病犠牲者慰霊式後の私の発言により、患者の方々、ご家族、ご遺族の方々を始め多くの方々に不安と不快の念を与えてしまいましたことに対し、誠に申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。
- 当社におきましては、水俣病補償を至上の命題に掲げ、その完遂のため必死の努力を傾けて参りました。また、「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に基づく救済措置対象者の判定が終了した旨の発表が平成26年8月29日に環境省からあり、一時金の支払いを誠実に実施しているところでございます。このことから、一定の区切りがついていることを申し上げました。
- そのような趣旨でございましたが、私の言葉足らずによりこのような事態となりましたことを深く反省し、「救済の終了」を始めとする皆様に不安と不快の念を与えてしまいました発言を撤回いたします。
- 生存患者の方々に対する継続補償はもとより、「公害健康被害の補償等に関する法律」の認定や訴訟に基づく新たな補償責任発生の可能性もあることも十分承知しております。これらの責任につきましてもこれまで通り真摯に対応して参る方針に変わりはなく、今後も水俣病補償完遂のため努力を傾けて参ります。

# 差別を助長する誤情報：2025年

「家庭教師のトライ」、オンライン教材に「水俣病は遺伝する」と誤情報



宇城市の全市民(2万3千世帯)向けカレンダーに、水俣病は感染症.....

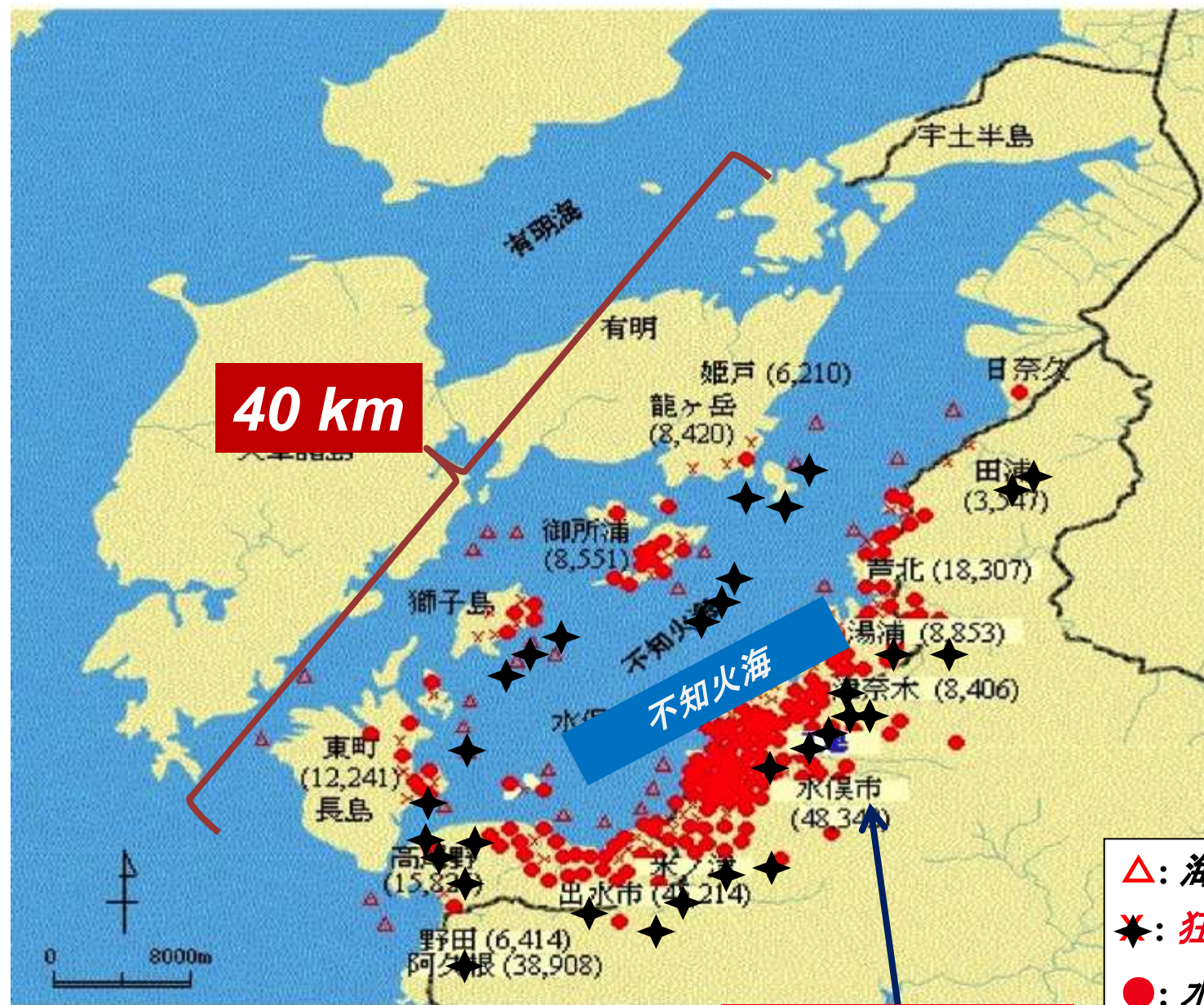




# 水俣とはどこにあるか（県庁からも遠い）







チツソ水俣工場

原田正純氏作成地図を改作\_\_宮北隆志

# 水俣病の発生と被害の拡大

- ▶ チッソ（株）による有機水銀を含み有毒廃水の無処理放出
- ▶ それによる海の汚染、
- ▶ 魚貝類の汚染と流通、摂食
- ▶ 行政の放置：規制しなかった
- ▶ 健康被害と差別の目



# チッソの百間排水口の水銀ヘドロ (1970年代)

(熊本の小学校5年生は訪れているかもしれない。現在はきれいにされています。)



ここから工場の廃水が無処理で排出され汚染が拡大した



# 水俣病発生の公式確認

1956年5月1日 新日窒付属病院細川一院長  
（東大医学部卒）が、原因不明の疾患発生  
と水俣保健所に届け出。 田中静子・実子  
姉妹の発症





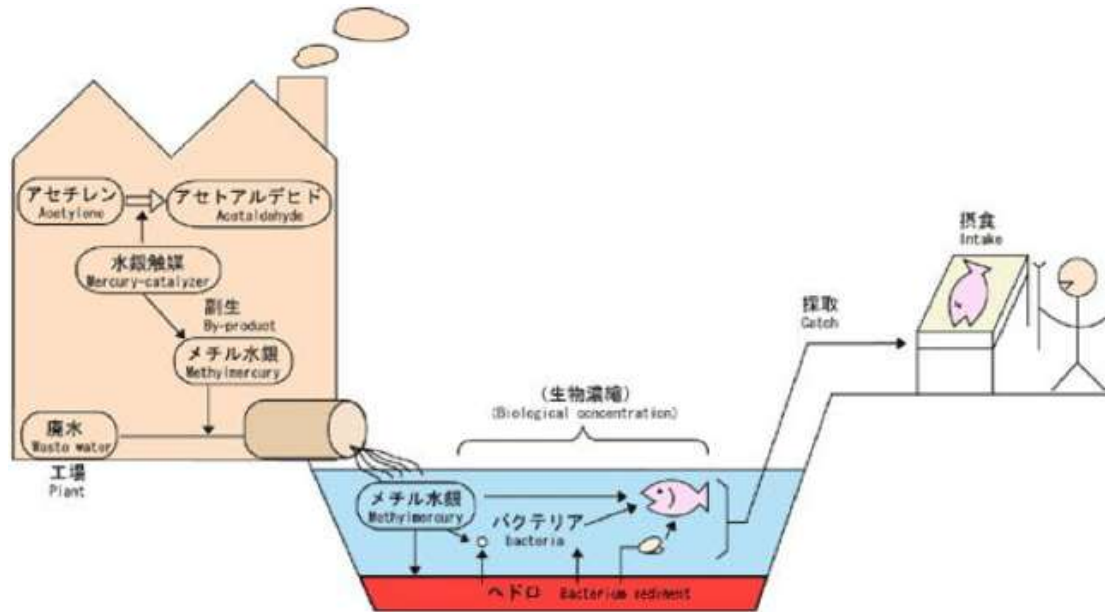
# 1956年5月1日に報告された患者自宅



# この子は宝子です

上村智子さん  
21才で他界

# 食物連鎖と社会的食物連鎖



- なぜ食べたのか、どのようにして食べたのか
- どのように広がったのか

# チッソはなぜ廃水を無処理で流したか (1932年～1968年)

- 毒物は薄めれば、無毒になる?? (希釈放流)
- 水銀が猛毒であることは知っていた.
- 戦前から何度も漁業補償を行っていた.
- なぜ、規制がされなかったのか
- 1958年、江戸川（東京・千葉）、本州製紙事件→汚染防止と法制化
- 水俣は東京からは見えなかった
  - 漁民、漁村への差別の目、地方への差別の目



# 「原因究明」の虚構と被害の拡大

## ▶ 原因究明という名前の原因隠し

☞ 当初 原因が不明

☞☞ ついで、原因物質が不明

☞☞☞ さらに原因の由来が不明

☞☞☞☞ 原因物質と病気の因果関係が不明

しかし、食中毒事件であるから、「有毒食品」を食べた  
時点で診断できる。この場合、魚介類の摂食。

## ▶ 歴史に否定されたいくつものこと

# 被害民の暮らしと闘いの足跡

- 貧困と見舞金契約
- 水俣病訴訟
- 認定を求める患者たち

# NHK ドキュメンタリー「日本の素顔」 1959年11月放映



NHKアーカイブスでみることができます。「奇病のかげに」



昭和35年 水俣チッソ工場 写真提供:小形(元チッソ労働者)

公害の原点、水俣病  
患者は孤立していた

1959年12月  
患者家族の工場正門  
前座り込み

水俣病患者・住民の暮らし

# 患者の暮らし 貧困と差別

## —隠れる患者—



# 漁民たちの生活の窮迫



写真は原田正純先生



# 水俣避病院（伝染病院）開設とコレラ

明治10年10月、水俣地方においてコレラ大流行。日本赤十字社の前身博愛社は富岡敬明熊本県権令の要請に応じ、軍医部長の許可を得て、医員助竹崎季薫を「水俣伝染仮病院」に派遣し、コレラに苦しむ多くの患者の救護にあたらせた。この時、創設者佐野常民は富岡から感謝状を与えられている。

明治33年伝染病予防法に基づく伝染病院となる。

# 水俣病発生当時の避病院（伝染病院）



当時の避病院イメージ図（絵・小島憲二郎）

板の上に蓆を敷いた異臭のする部屋に水俣奇病患者は寝かされていた。（徳臣医師）訪問すると消毒の臭いが取れなかった

# 朝の賑わい (昭和30年代)



写真 I氏提供



# 1950年代不知火海の漁業



動力船は一艘だけ

# 昭和30年頃の漁民の一統の記念写真



写真提供: 松崎忠男



水俣病患者Iさん：2014年3月31日

判決で水俣病と認められた。（高裁で係争中）



# 水俣病患者のたたかい(1969年～)

## チッソ本社前(東京丸の内)座り込み

命を返せの叫び  
チッソの責任:あやまれ  
被害の償い

# 水俣病訴訟へ（1969年提訴）

- 水俣病患者原告がチッソを相手に損害賠償請求訴訟
- （1968年9月政府公式見解）
- 1973年 患者の全面勝訴  
→ 補償協定書締結
- 行政認定を受けた者に適用  
→ 未認定問題の浮上





# 水俣病についての行政の責任

(2004年10月最高裁判決：関西訴訟)

# 水俣病の患者・被害者はどれだけいるのか

- 1) 正しい解答はない
- 2) およそ10万人は下らない

新規発生はないが  
潜在被害者が少しずつ表に出てきている

# 水俣病認定申請の状況

## 公害健康被害補償法に基づく

(単位：人)	申請数	取下	申請実数	処分済			未処分
				認定 (現存者)	棄却	小計	
熊本県	21,373	6,759	14,614	1,786 [304]	11,784	13,570	1,249
鹿児島県	8,981	4,232	4,749	492 [117]	3,719	4,211	773
新潟県・新潟市	2,565	327	2,191	704 [168]	1,382	2,086	152
(小計)	32,872	11,318	21,554	2,982	16,885	19,867	2,174
国(臨時措置法)	483	79	404	33	340	373	31

2015年11月末、熊本は12月。申請総数は日々変化しています。

# 水俣病特措法救済策対象者数

(単位：人)

一時金等の給付申請者数					切替者数(※ 1)	総数
	① 一時金等 対象該当者数	② 療養費 対象該当者数	③ ①、②のい ずれにも非該 当者数	④ 合計 (①+②+③)		
熊本県	19,306	3,510	5,144	27,960	14,797	42,757
鹿児島県	11,127	2,418	4,428	17,973	1,998	19,971
新潟県	1,811	85	77	1,973	29	2,002

64,730

2010年水俣病特措法に基づく医療給付申請者とその判定結果  
2012年7月締め切り

# なぜ、現在も水俣病の被害があるのか

## ■ 水俣病の新規発生？

1971年 100名余り

現在 認定患者 2287名(新潟含め2300名)

被害救済給付対象者数 6万人あまり

推定合計 10万人を下らない(95年の政治解決、潜在数)

## ■ 新たな水俣病患者とは誰か：それまで知らなかった人たち、それまで隠れていた人たち

## ■ なぜ、現在も増え続けるのか

# なぜ潜在しているのか 水俣病に対する差別と潜在患者

- 病者に対する差別
  - 差別されてきた水俣病患者
    - 結婚、就職、
- 水俣病に対する差別と偏見
  - ⇒、2010年6月のサッカー事件
- 水俣病の映像：急性期の発作症状ばかり
- 水俣病で何を習ってきたか

# 水俣病差別発言事件 20年前ですが

- 起きたこと

# 新聞報道（2）

- 1997年6月 サッカー大会（人吉）



# 水俣病は終わっていない



熊本地方裁判所前の患者集会

# 何故起きたのか（外からの眼）

- 水俣病を見る眼こそが問われている
- 誰が中傷されているのか・何が差別されているのか
- 水俣出身者なのか
- 水俣病患者なのか

# 水俣病患者の上村好男さんの言葉

▶ 「歴史を語るに、郷土というものには冷たい。過去を知らない人生は寂しいものであります。」

- ☞ 過去に学ぶこと、そこにはその歴史を生きてきた人たちがいる
  - ☞ 今に学ぶこと
  - ☞ あやまちを認めること
- そこから「水俣学の創造」へ

# 水俣学は新しい学問のモデル

～～～既存の装置（枠組み）を超える

開かれた学問～～～

権威主義、官僚主義、保守主義、不正義と

対決する革新的・変革の学問を目指す。

地域で、地域を学習して地域に返す。

（原田正純：水俣学講義）

# 水俣学の取り組み

- (1) 水俣病は社会を映す鏡：水俣病とはどういう病いか、歴史と現在に学ぶ.
- (2) 現場を大切に：そして、自分たちの足下に水俣を被害者を中心に考える：差別を考えたい.
- (3) 専門の狭い枠に閉じこもらないで広く見よう.
- (4) 国境の壁を越えよう：世界で公害が起きた水俣病もおきている.

そして、水俣病事件がいまも問題になっているのはなぜか →患者の訴えが続いていることに耳を傾けたい

人類の負の遺産としての公害、  
水俣病を将来に活かす

第一班  
水俣病被害の  
多様性研究

第二班  
住民主体の  
地域社会の再構築

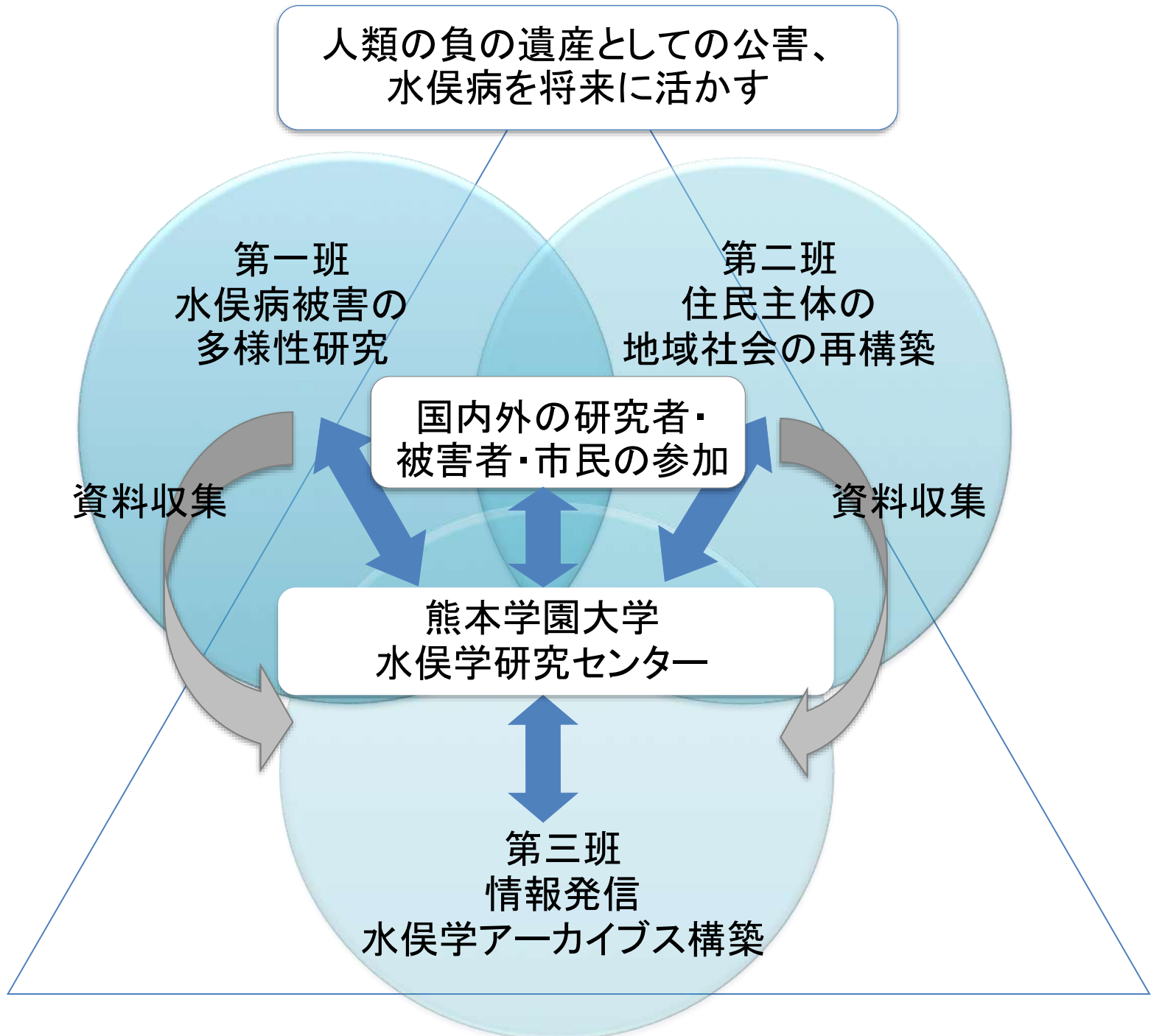
国内外の研究者・  
被害者・市民の参加

資料収集

資料収集

熊本学園大学  
水俣学研究センター

第三班  
情報発信  
水俣学アーカイブス構築



# 真の文明とは

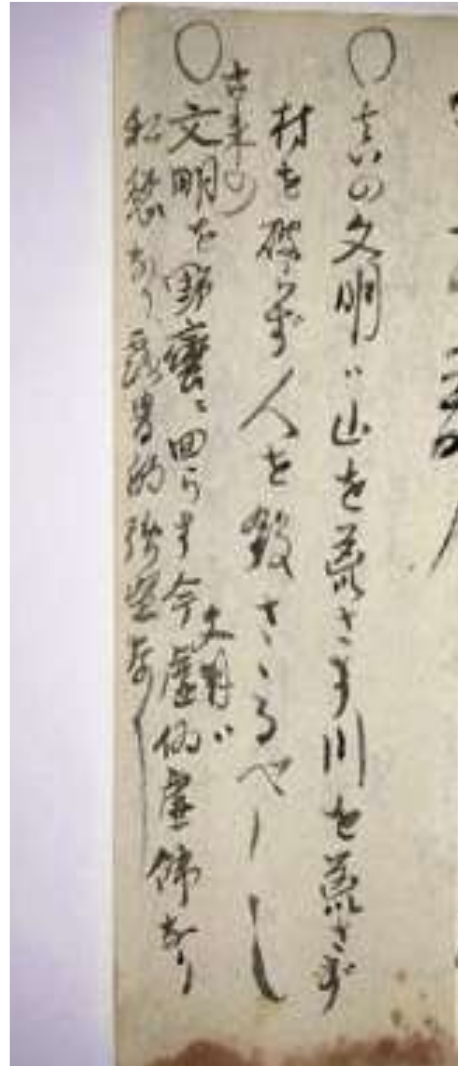
真の文明は

山を荒さず

川を荒さず

村を破らず

人を殺さざるべし。



田中正造1912(明治  
45)年6月17日の日記

栃木県佐野市  
郷土博物館蔵



# 過去の失敗を将来に活かすために： いのちの尊厳

- ▶ いのちを大事にすること。いのちとは人の人生そのもののこと。ともに分かち合ういのち、ともに生きるいのち。いのちの尊厳には上下はない。
- ▶ しかし時代の波に巻き込まれて、いのちの価値を見失うときに、公害は起きるだろう。

# まとめ

水俣学のWEBサイトで

水俣学アーカイブをみよう

水俣学講義を聞こう

水俣に学び、自分を振り返ろう。

